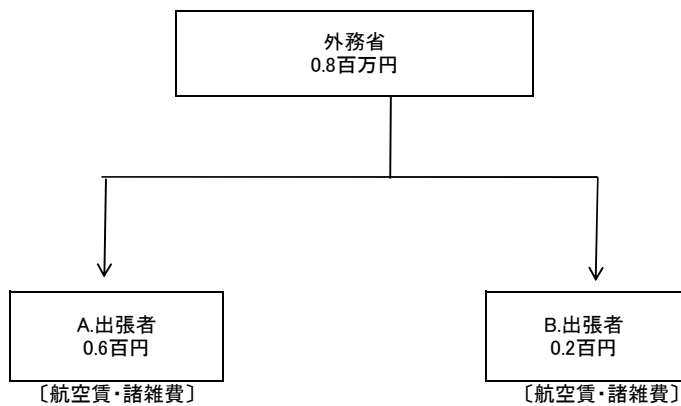


平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	日本・BIMP-EAGA高級実務者会合			担当部局	南部アジア部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始			担当課室	南東アジア第二課			課長 山本 敏生	
会計区分	一般会計			施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条二・三、外務省組織令第44条			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国は、BIMP-EAGA(ピンブ・東アジア成長地域)の対象地域に対して、過去10年間で3,200億円に上る積極的な支援や各種投資案件を実施。BIMP-EAGAはASEAN統合に向けた連結性向上にも資する取組みであり、我が国は、ASEANによる連結性強化努力の支援の観点からも、観光、人材育成、水産資源管理、インフラ整備を重点分野として、今後も対BIMP-EAGA協力、日BIMP-EAGA関係強化を図っていく考え。効果的な支援の実施のため、BIMP-EAGAの枠組みと直接的な対話の定期的な実施は極めて重要であり、今後もBIMP-EAGAの閣僚会議やSOM会合の機会を活用して、日本・BIMP-EAGA高級実務者会合を開催していく。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本・BIMP-EAGA高級実務者会合出席のための出張。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	1	1	0.9	0.9		
	執行額		—	0.8	0.8				
	執行率(%)		—	72.7	84.8				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	【成果目標】日本とBIMP-EAGAとの関係の強化 【成果実績】具体的な協力関係の構築(協力枠組み文書に関する議論、各協力分野に関する議論を行った。また、SOMでの議論に基づき、水産資源維持管理関係者を25名招へい)			成果実績		0	1	1	—
				達成度	%	—	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成22年度には、平成22年9月にマレーシア・クチンで行われたBIMP-EAGA閣僚会合の機会を活用し、第4回日BIMP-EAGA・SOM会合を開催、アジア大洋州局参事官と、そのサブ面での補佐のため6級職員が出張した。			活動実績 (当初見込み)		—	会議1回実施	会議1回実施	—
						—	(会議1回開催)	(会議1回開催)	
単位当たりコスト	421,805(円/1名)			算出根拠	843.61円(出張旅費)÷2名				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	出張旅費	834	875						
	会議関係経費	45	42						
計	879	917							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	BIMP－EAGA側の関係者と本邦で会議を行うことは、これら関係者の訪日費用を日本が負担できない場合には、BIMP－EAGA側の予算面での制約（日本に出張する予算の不足）等から困難が見込まれるため、本邦での会議開催経費は見直しの余地がある。その一方で、アジア経済の活力の取り込みに向け、ASEAN域内の連結性強化の取組を支援するとの観点からはBIMP－EAGAの取組に対する支援を強化することの重要性は増している。したがって、BIMP－EAGAとの連携を増すためには、出張旅費の増額が必要と考えられるが、出張の際の航空賃については、引き続きP EX料金の使用を推奨していきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
○参考 BIMP－EAGA（ピンブ・エアガ）はブルネイ（B）、インドネシア（I）、マレーシア（M）、フィリピン（P）が進める、ミンダナオ島及びボルネオ島を含む南島アジア島嶼地域を民間主導で開発することを目指す対話と協力の枠組み。近年、参加4ヶ国はASEAN関連首脳会議の開催に際しBIMP－EAGAを重視する観点から、「BIMP－EAGA首脳会議」を実施してきている。また、2015年のASEAN統合に向けた連結性強化の取組においても、域内格差是正の枠組みとして重視されている。我が国は、日ASEAN双方の発展を図り、地域の安定と繁栄に向け共に歩んでいくとの観点から、引き続きASEAN連結性強化や格差是正への取り組みを積極的に後押しし、2015年のASEAN共同体構築を力強く支援していく方針であり、BIMP－EAGAを、ASEANの海洋地域の連結性向上支援の文脈で、活用していく考え。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者		0.6	—	—
2					

支出先上位10者リスト

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者		0.2	—	—
2					